



# Pachinko Diffusion Index

## 第 40 回

## パチンコ景気動向指数 (DI)

## 調査結果

### ■ DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、2000年6月より四半期(3、6、9、12月)ごとに実施している調査。

### ■ 今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業  
日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2010年3月19日～2010年3月30日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 有効回収数 66 社

2010年4月

# 調査結果のポイント

## ■ 全般的業況はマイナス 29.0 と前期より回復も低水準

現況(2010年3月)の業況判断DI値は、マイナス 29.0 と前回調査時のマイナス 41.5 から、12.5 ポイントの改善となったものの、尚も低い水準のままである。

見通し(3カ月後)については、マイナス 29.0 と先行きを見通せない状況となっている。

<現況の改善幅大きい中規模事業者>

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス 46.4 と前回のマイナス 54.8 から 8.4 ポイントの改善。中規模事業者でDI値マイナス 28.0 と前回の 52.6 から 24.6 ポイントの改善。大規模事業者はDI値マイナス 17.5 と前回のマイナス 21.9 から 4.4 ポイントの改善となっている。

見通し(3カ月後)では、小規模事業者(マイナス 42.9)、中規模事業者(マイナス 8.0)、大規模事業者(マイナス 32.5)と、中小規模事業者でそれぞれ改善、大規模事業者は数値を下げている。

## ■ パチンコ現況はやや回復するも、中小規模事業者は尚も低水準

現況の稼働状況はマイナス 30.1 と、前回のマイナス 42.7 から 12.6 ポイントの改善となった。

見通し(3カ月後)はマイナス 35.5 となっており、数値を下げ尚も低水準にとどまっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店舗保有)がマイナス 46.4、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス 32.0、大規模事業者(11店舗以上保有)がマイナス 17.5 となっている。前 12 月期と比べると、小規模事業者は 18.1 ポイントの改善、中規模事業者は 10.1 ポイントの改善、大規模事業者は 4.4 ポイントの改善となっているが、中小規模事業者は尚も低水準にとどまっている。

## ■ 不振の 4 円、好調の低貸玉パチンコ

2009 年 12 月期より、パチンコ全体に加えて「4円パチンコ」と「低貸玉パチンコ」に分けた稼働状況の設問を追加した。現況の稼働状況は4円パチンコがマイナス 27.8、低貸玉パチンコが 24.4 となっている。現況はともに 12 月期より 20 ポイント前後の改善となっている。不振の4円パチンコ、好調の低貸玉パチンコと両者には大きな開きがある。

## ■ 2005 年 6 月期以来のプラス圏に回復のパチスロ

現況の稼働状況は、12.9 と、前回のマイナス 24.7 からは 37.6 ポイントの大幅な改善となっている。パチスロの稼働状況がプラスとなるのは、2005 年6月以来約5年ぶりとなっている。

「ジャグラーシリーズ」に加えて「新世紀エヴァンゲリオン~魂の軌跡~」、「パチスロ交響詩篇エウレカセブン」などの定番機種が育ってきている効果が現れたものと考えられる。

見通し(3カ月後)は、2.2 と、現況より悪化を見込んでいる。

## ■ 「前Q問題」の影響は「新台購入台数」「チェーン店移動」減少など

6月より実施が予定されている中古機移動時の「前Q問題」変更による、新台及び中古機購入等の変化を聞いた。

新台購入台数の変化は、中小規模事業者では購入台数「減少」が4割を超えている。チェーン店移動台数の変化は、中規模事業者で「減少」が63.6%と高くなっている。4店舗から10店舗クラスの事業者での影響が見込まれている。

# 景況キーワード













## ■お客様視点の欠如で悪循環に陥る

「現況の遊技機は、お客様に負担あるいはストレスを与えすぎている。」や「ホール側に喜ばれる台では、お客様に受けない。利益確保が容易な甘くない機械が最近が多い。」などの意見にあるように、入替競争と機械単価の上昇がお客様の負担となっており、顧客離れや遊技時間の減少につながり、悪循環となっている。

## ■求められる業界一丸となった取り組み

「低貸玉営業により業界の縮小が起きている。メーカーも含めて業界一丸となったファン拡大策が必要。」や「ホール全体がまとまり、対メーカー、対業界、対行政で力を持たないといけない。」との意見のように業界全体で新たな顧客獲得に向けた取り組みをする時期にきているとの認識が広まっている。

### <主要指標 パチンコ業界全体>

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-41.5	-29.0	-29.0	 ⇨ 	現況は、雷雨から雨に。数値は雷雨に近く、見通しも現況同様。	
2. 稼働状況（パチンコ）	-42.7	-30.1	-35.5	 ⇨ 	数値は回復するも、現況引き続いて雷雨。先行き見通しも雷雨。	
3. 稼働状況（パチスロ）	-24.7	12.9	2.2	 ⇨ 	現況は雨から薄曇りに回復。先行き見通しは曇り。	
4. 資本投入気運の変化（台）	-11.7	-30.3	-42.4	 ⇨ 	現況は雨から雷雨に。先行き見通しも雷雨のまま。	
5. 資本投入気運の変化（設備）	-16.9	-10.6	0.0	 ⇨ 	現況は数値を上げるものの雨のまま。見通しは曇りに。	
6. 営業用設備の不足感	-4.9	-15.1	-12.9	 ⇨ 	設備不足感は数値を下げ曇りから雨に。見通しも雨。	
7. 雇用人員の不足感	8.5	-4.8	2.4	 ⇨ 	人材不足感はやや拡大。	

注前回現状は2009年12月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
 晴れ	30.0～	 雨	-29.9～-10.0
 薄曇り	10.0～29.9	 雷雨	～-30.0
 曇り	-9.9～9.9		

# 全般的概要－業況

## ■業況判断DI値は前期より回復も、マイナス29.0と尚低い水準

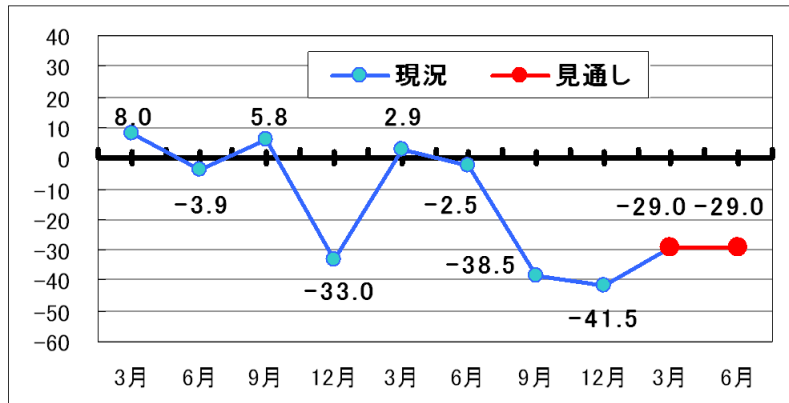
現況(2010年3月の業況判断)は「良い」が2.7ポイント減少して2.2%となり、「悪い」が15.1ポイント減少して31.2%となり、DI指数はマイナス29.0と前回のマイナス41.5から、12.5ポイントの改善となった。しかし、尚も低い水準のままである。

見通し(3カ月後)については、マイナス29.0と先行きを見通せない状況となっている。

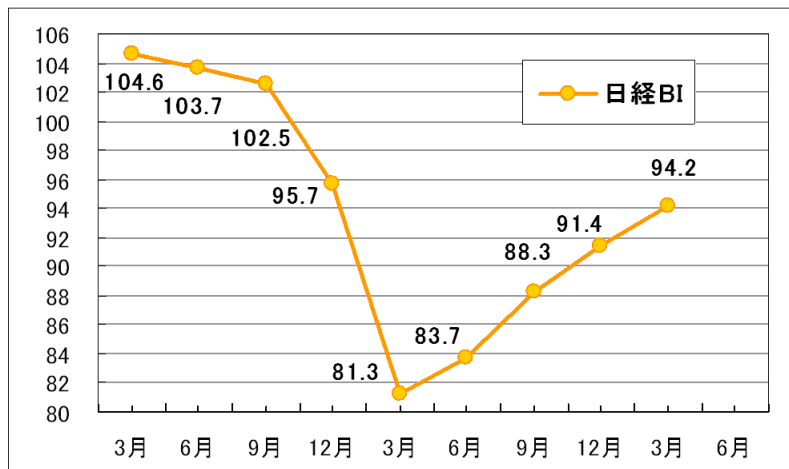
代表的な民間の景気動向指数である日経景気インデックス「日経BI」の2月速報値は、94.2(2005年平均=100)となり前月水準を下回った。前月と比べて低下するのは11カ月ぶり。

内閣府が景気動向指数による景気判断の基準として重視している3カ月移動平均を日経BIに適用すると10カ月連続で上昇、2月も前月を1ポイント上回っていることから、景気は回復基調を維持している公算が大きい。

<現況の推移と見通し>



<日経景気インデックスデータ(日経BI)>



※インデックスデータは、1-3月の平均を3月に示した。直近の3月は2月速報値。

### 日経景気インデックス(日経BI)

景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標(鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率)から共通する「景気の波」を抽出したもの。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。BIはビジネス・インデックス(Business Index)の略。(2005年平均=100)

# 全般的概要－業況判断理由と経営上の課題

## ■悪業績の理由、『来店客数の減少』がその他の理由を大きく離す

業況判断を「悪い」(31.2%)と下した理由は、『来店客数の減少』が87.5%と他を大きく離している。

先行き(3カ月後まで)の業況判断理由では、『来店客数の減少』の57.9%と『客単価の減少』の31.6%で89.5%と約9割を占めている。

## ■「前Q問題」の影響か、『不明瞭な行政指導』が浮上

経営上の課題では、『不明瞭な行政指導』(23.5%)が前回より11.7ポイント増加し、前回の9位から4位に浮上した。

別項で詳しく触れる「前Q問題」(中古移動時の手続き変更)が取り沙汰されていることが影響しているものと思われる。

## ■『人材教育・育成』、『競争激化』、『メーカーの遊技機販売の縛り』が3大課題

経営上の課題の上位3項目は、順位の入替わりはあるものの『人材教育・育成』、『同業他社との競争激化』、『メーカーの遊技機販売の縛り』でほぼ固定されている。

業界全体として新規顧客の取り込みがうまく出来ておらず、限られたお客様を巡る厳しい店舗間競争が続く中、『人材教育・育成』は継続して上位の課題としてあげられている。

『メーカーの遊技機販売の縛り』も、2009年3月に選択肢に組み入れて以来常に上位の課題として挙げられている。遊技機販売方法や遊技機価格の高騰がパチンコ店経営における負担となっている状況が続いている。

### <経営上の課題>

項目	全体 (9月)	全体 (12月)	全体 (3月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
人材教育・育成	52.5%	49.2%	52.9%	38.7%	65.2%	64.3%
同業他社との競争激化	44.1%	59.3%	51.5%	45.2%	52.2%	64.3%
メーカーの遊技機販売の縛り	45.8%	47.5%	36.8%	38.7%	52.2%	7.1%
不明瞭な行政指導	13.6%	11.9%	23.5%	29.0%	8.7%	35.7%
設備・運営費の増加	23.7%	22.0%	20.6%	12.9%	26.1%	28.6%
時間帯・曜日などの客の偏り	10.2%	20.3%	19.1%	22.6%	17.4%	14.3%
資金調達	20.3%	22.0%	16.2%	12.9%	17.4%	21.4%
公的な規制	6.8%	15.3%	14.7%	16.1%	17.4%	7.1%
人材不足・人材確保	8.5%	6.8%	13.2%	6.5%	21.7%	14.3%
人件費の増加	10.2%	11.9%	11.8%	6.5%	13.0%	21.4%
組合の自主規制	3.4%	3.4%	2.9%	3.2%	0.0%	7.1%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

# 全般的概要－稼働状況

## ■パチンコ現況はやや回復、中小規模事業者は尚も低水準

現況の稼働状況はマイナス 30.1 と、前回のマイナス 42.7 から 12.6 ポイントの改善となった。

見通し(3カ月後)はマイナス 35.5 となっており、数値を下げ尚も低水準にとどまっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1～3店保有)がマイナス 46.4、中規模事業者(4～10 店舗)がマイナス 32.0、大規模事業者(11 店舗以上保有)がマイナス 17.5 となっている。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 18.1 ポイントの改善、中規模事業者は 10.1 ポイントの改善、大規模事業者は 4.4 ポイントの改善となっているが、中小規模事業者は尚も低水準にとどまっている。

## ■2005 年 6 月期以来のプラス圏に回復のパチスロ

現況の稼働状況は、12.9 と、前回のマイナス 24.7 からは 37.6 ポイントの大幅な改善となっている。パチスロの稼働状況がプラスとなるのは、2005 年6月以来約5年ぶりとなっている。

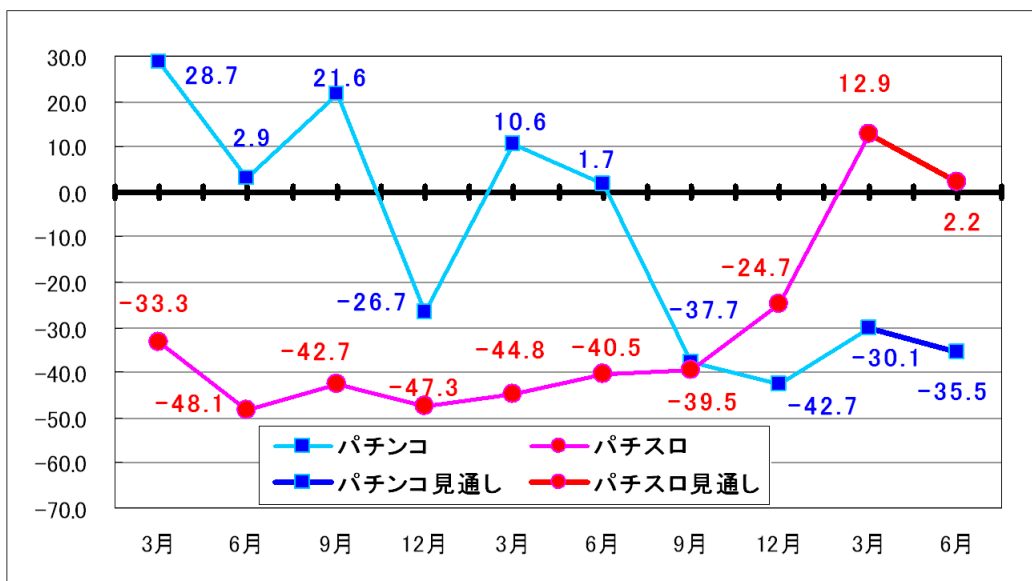
「ジャグラーシリーズ」に加えて「新世紀エヴァンゲリオン～魂の奇跡～」、「パチスロ交響詩篇エウレカセブン」などの定番機種が育ってきている効果が現れたものと考えられる。

見通し(3カ月後)は、2.2 と、現況より悪化を見込んでいる。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1～3店保有)がマイナス 21.4、中規模事業者(4～10 店舗)が 20.0、大規模事業者(11 店舗以上保有)が 32.5 となっている。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 17.3 ポイントの改善、中規模事業者は 30.5 ポイントの改善、大規模事業者は 51.9 ポイントの改善となっているが、中小規模事業者は尚も低水準にとどまっている。

<稼働状況の推移と見通し (パチンコとパチスロ) >



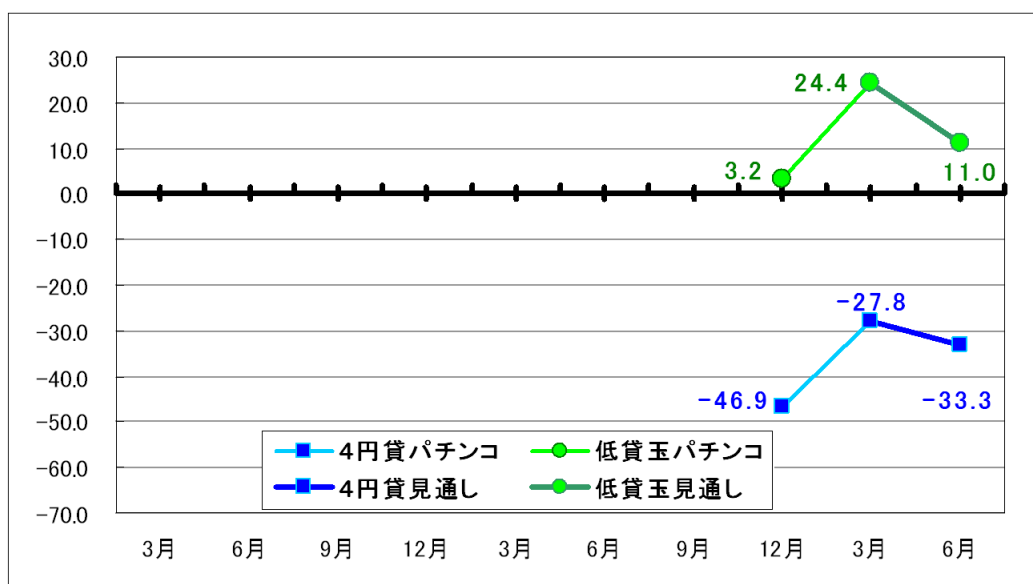
## 不振の4円、好調の低貸玉パチンコ

2009年12月期より、パチンコ全体に加えて「4円パチンコ」と「低貸玉パチンコ」に分けた稼働状況の設問を追加した。

現況の稼働状況は4円パチンコがマイナス27.8、低貸玉パチンコが24.4となっている。現況はともに12月期より20ポイント前後の改善となっている。不振の4円パチンコ、好調の低貸玉パチンコと両者には大きな開きがある。

見通し(3カ月後)は、4円パチンコがマイナス33.3、低貸玉パチンコが11.0となっており、ともに現況より悪化を見込んでいる。

<稼働状況の推移と見通し(4円パチンコと低貸玉パチンコ)>





# 地域別の業況

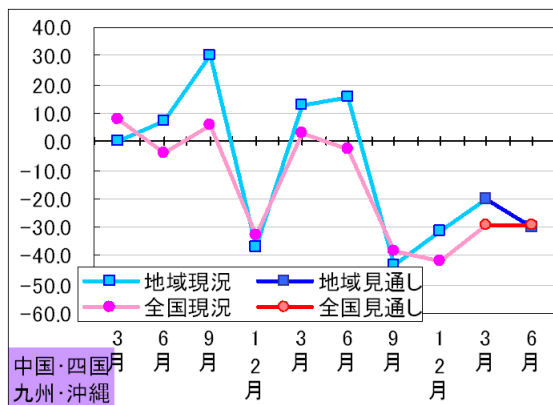
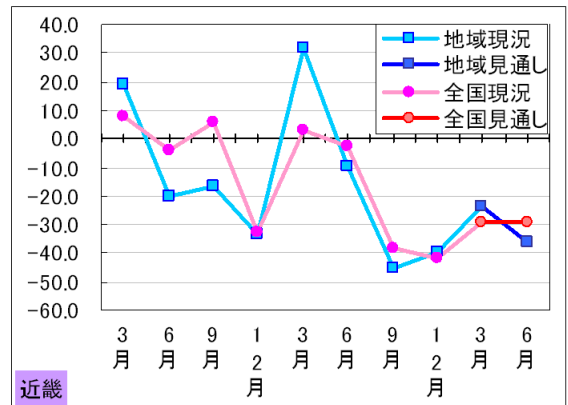
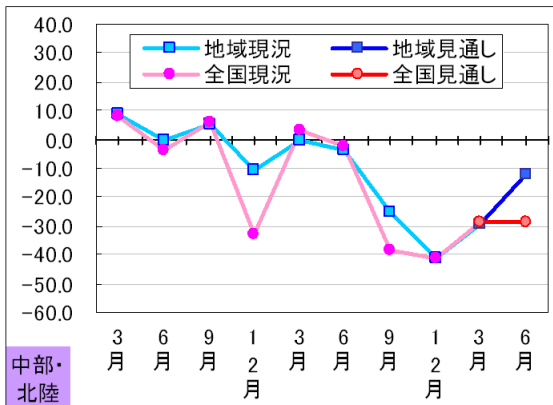
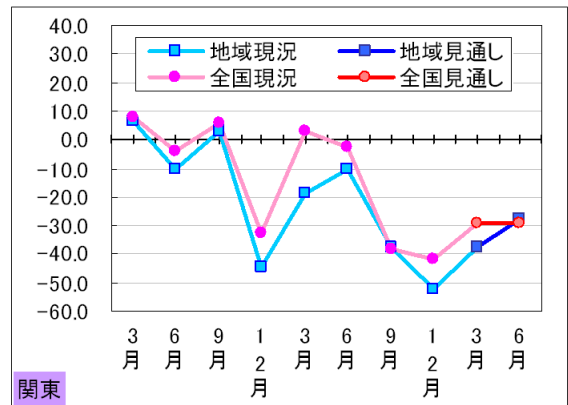
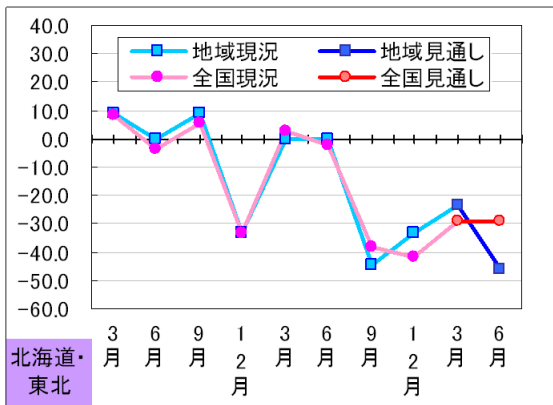
## ■ 現況は改善するも低水準、見通しは地域によりバラツキ

現況のDI値は、5ブロックすべてで前12月期より数値を改善したもののマイナス20(「中国・四国・九州・沖縄」)からマイナス37.5と(「関東」)低い水準となっている。

見通し(3カ月後)については、現況よりは数値改善は「関東」と「中部・北陸」の2ブロックのみ。「北海道」(マイナス46.2)や「近畿」(マイナス36.4)は、尚も厳しい数値となっている。

### <地域別集計母数>

地区別業況判断の集計母数は以下。北海道・東北(13)、関東(32)、中部・北陸(17)、近畿(11)、中国・四国・九州・沖縄(20)





# 規模別業況

## ■現況の改善幅大きい中規模、見通しでは大規模が下げる

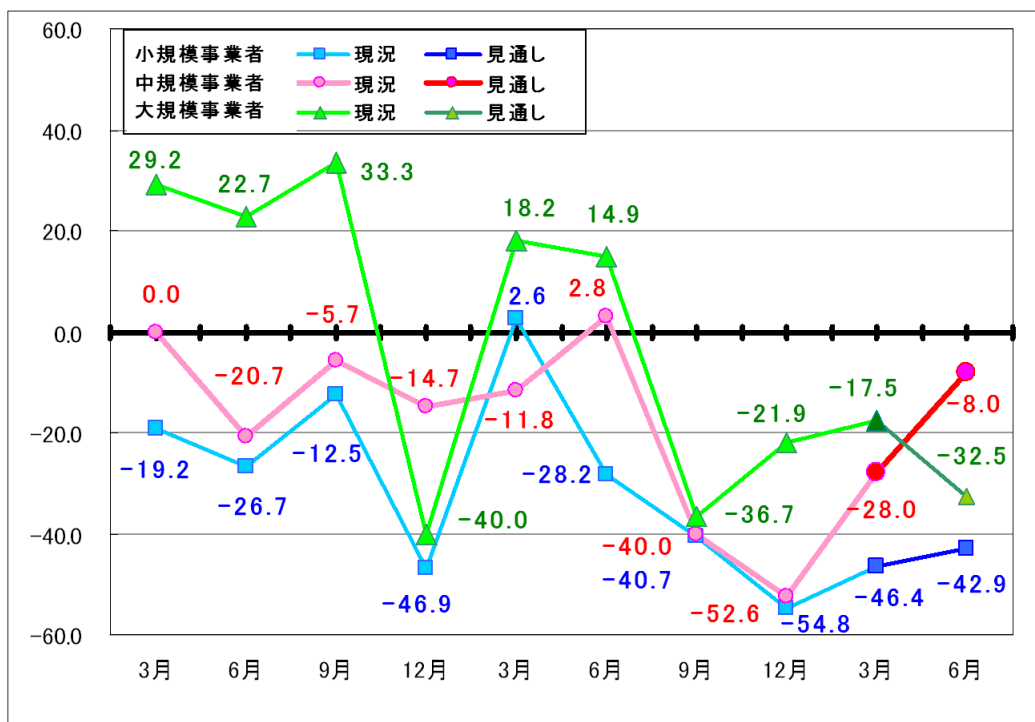
現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス 46.4 と前回のマイナス 54.8 から 8.4 ポイントの改善。中規模事業者でDI値マイナス 28.0 と前回の 52.6 から 24.6 ポイントの改善。大規模事業者はDI値マイナス 17.5 と前回のマイナス 21.9 から 4.4 ポイントの改善となっている。

見通し(3カ月後)では、小規模事業者(マイナス 42.9)、中規模事業者(マイナス 8.0)、大規模事業者(マイナス 32.5)と、中小規模事業者でそれぞれ改善、大規模事業者は数値を下げている。

### <規模別集計母数>

地区別業況判断の集計母数は以下。小規模事業者(28)、中規模事業者(25)、大規模事業者(40)

### <規模別：業況の推移と見通し>



注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

## 「前Q問題」変更の影響

### ■「新台購入台数」は、中小事業者で減少に向かう

6月より実施が予定されている中古機移動時の「前Q問題」(中古機移動手続き時の初回QRコード読み取りが、遊技機撤去後にしかできなくなる。)変更による、新台及び中古機購入等の変化を聞いた。

新台購入台数の変化は、全体では「不変」が55.4%、「減少」38.5%と、購入台数を減らすとの回答が4割近くにのぼっている。購入台数「減少」の回答割合を規模別にみると、小規模事業者で44.8%、中規模事業者で40.9%と規模が小さい事業者ほど高くなっている。一方、新台購入タイトル数の変化は、全体では「不変」が72.3%と最も多いが、「減少」も21.5%と一定割合存在する。

### ■「チェーン店移動」減少見込まれる中規模事業者

チェーン店移動台数の変化は、中規模事業者で「減少」が63.6%と高くなっている。4店舗から10店舗クラスの事業者での影響が見込まれている。

### ■購入資金の変化は、減少4割、増加2割

新台、中古機の購入資金の変化は、全体では「不変」と「増加」が各40.0%、「増加」が20.0%となっている。特に、1～3店舗クラスの小規模事業者では、新台購入台数の減少や中古機購入台数の増加などで、購入資金の「減少」が55.2%と半数を超えている。

#### <「前Q問題」変更後の変化>

新台購入台数の変化	増加	不変	減少
全体	6.2%	55.4%	38.5%
小規模事業者	0.0%	55.2%	44.8%
中規模事業者	9.1%	50.0%	40.9%
大規模事業者	14.3%	64.3%	21.4%

新台購入タイトル数の変化	増加	不変	減少
全体	6.2%	72.3%	21.5%
小規模事業者	0.0%	62.1%	37.9%
中規模事業者	13.6%	72.7%	13.6%
大規模事業者	7.1%	92.9%	0.0%

チェーン店移動台数の変化	増加	不変	減少
全体	14.8%	42.6%	42.6%
小規模事業者	24.0%	48.0%	28.0%
中規模事業者	13.6%	22.7%	63.6%
大規模事業者	0.0%	64.3%	35.7%

中古機購入台数の変化	増加	不変	減少
全体	21.5%	55.4%	23.1%
小規模事業者	27.6%	51.7%	20.7%
中規模事業者	18.2%	59.1%	22.7%
大規模事業者	14.3%	57.1%	28.6%

購入資金の変化	増加	不変	減少
全体	20.0%	40.0%	40.0%
小規模事業者	17.2%	27.6%	55.2%
中規模事業者	27.3%	45.5%	27.3%
大規模事業者	14.3%	57.1%	28.6%

注: 小規模事業者=1～3店舗 中規模事業者=4～10店舗 大規模事業者=11店舗以上

## ■「長期間での回収を目指す」割合高い中小規模事業者

「前Q問題」の変化による機械代回収期間にどのような影響があるかについては、全体では「変化はみられない」が50.8%と最も多く、「現段階ではわからない」が23.8%で続いている。早期回収か長期間回収かについては、「長期間での回収を目指すようになる」が15.9%と「早期回収に向かうようになる」の9.5%を上回っている。

「長期間での回収を目指すようになる」の回答割合を規模別にみると、小規模事業者で18.5%、中規模事業者で18.2%と高くなっている。

### <回収期間への影響>

	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
早期回収に向かうようになる	9.5%	11.1%	13.6%	0.0%
変化はみられない	50.8%	48.1%	50.0%	57.1%
長期間での回収を目指すようになる	15.9%	18.5%	18.2%	7.1%
現段階ではわからない	23.8%	22.2%	18.2%	35.7%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

## ■事業者規模が小さいほど、競争環境に「悪影響」と与えている

競争環境にどのような影響を与えるかについては、全体では「悪影響」(34.9%)と「現段階ではわからない」(33.3%)がそれぞれ約1/3を占めている。

「企業間・店舗間格差が拡大し「悪影響」については、小規模事業者44.4%、中規模事業者31.8%、大規模事業者21.4%と事業規模が小さいほど「悪影響」をもたらすと考えている。一方、「入替競争からの脱却が図られ「好影響」との回答は、小規模事業者で14.8%、中規模事業者で4.5%存在している。

実際に新ルールの運用が始まってみないと、どのような影響が起きるかつかめない面もあるが、会社の方針に沿った対応で変化をチャンスと捉えることが望まれる。

### <競争環境への影響>

	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
企業間・店舗間格差が拡大し「悪影響」	34.9%	44.4%	31.8%	21.4%
変化はみられない	23.8%	22.2%	36.4%	7.1%
入替競争からの脱却が図られ「好影響」	7.9%	14.8%	4.5%	0.0%
現段階ではわからない	33.3%	18.5%	27.3%	71.4%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

メーカーへの要望としては、以下のようなものが挙げられている。

- \* メーカーも著作権等、限りなく経費の節減に努め、機械代を低下させて欲しい。業界の活性化にはメーカーの協力が不可欠である。
- \* リユース、台枠統一等による低価格化。抱き合わせ、台数縛り等の購入規制の撤廃。
- \* 1機種あたりの販売台数の縮小。エコ、リサイクルによる単価のダウンの実現。
- \* 新機種発表サイクルが早すぎる。同タイトルの遊パチ発売時期を明確にして欲しい。
- \* 販売時期をニーズに合った時にして欲しい。株主のための販売時期に思う。
- \* 年間の販売タイトル数を減らすこと。
- \* 夜に稼働するようなTS1/180TY2000発、時短、確変無しの安い台を作ってほしい。
- \* TYを上げ、ラッキーナンバー、1回交換等多様な使い方ができる機械の開発。

# 調査結果概要 DATA

## ■規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-54.8	-46.4	-42.9	-52.6	-28.0	-8.0	-21.9	-17.5	-32.5
2. 稼働状況（パチンコ）		-64.5	-46.4	-46.4	-42.1	-32.0	-16.0	-21.9	-17.5	-40.0
3. 稼働状況（パチスロ）		-38.7	-21.4	-17.9	-10.5	20.0	8.0	-19.4	32.5	12.5
4. 資本投入気運の変化（台）		-21.4	-31.0	-44.8	-15.0	-30.4	-47.8	16.7	-28.6	-28.6
5. 資本投入機運の変化（設備）		-14.3	-17.2	-13.8	-20.0	-8.7	0.0	-18.2	0.0	28.6
6. 営業用設備の不足感		-3.2	-39.3	-39.3	0.0	-8.0	-4.0	-9.4	-2.5	0.0
7. 雇用人員の不足感		9.7	-8.0	-8.0	21.1	-4.8	-13.6	0.0	-2.6	18.4

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

## ■地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-33.3	-23.1	-46.2	-52.0	-37.5	-28.1	-41.2	-29.4	-11.8
2. 稼働状況（パチンコ）		-33.3	-23.1	-53.8	-60.0	-37.5	-34.4	-35.3	-23.5	-11.8
3. 稼働状況（パチスロ）		-50.0	15.4	0.0	-20.0	15.6	15.6	-23.5	17.6	-5.9
4. 営業用設備の不足感		16.7	7.7	7.7	-8.0	21.9	18.8	17.6	5.9	5.9
5. 雇用人員の不足感		0.0	7.7	-23.1	-12.0	6.3	6.3	-5.9	-5.9	0.0
項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄			営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し			
1. 全般的業況		-40.0	-27.3	-36.4	-31.6	-20.0	-30.0			
2. 稼働状況（パチンコ）		-33.3	-27.3	-36.4	-36.8	-30.0	-45.0			
3. 稼働状況（パチスロ）		-35.7	27.3	9.1	-15.8	-5.0	-15.0			
4. 営業用設備の不足感		13.3	18.2	27.3	0.0	15.0	-5.0			
5. 雇用人員の不足感		-13.3	0.0	-9.1	-5.3	18.2	0.0			

## ■資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査
資金繰り		-8.5	-16.7	-15.2	-11.5	-17.9	-20.7	-5.9	-15.0	-13.0	-6.7	-16.7	-7.1
貸出態度		-28.1	-27.1	-20.0	-24.0	-32.1	-35.7	-17.6	-15.8	-8.7	-42.9	-33.3	-7.1
借入金利		3.5	5.1	6.1	0.0	-3.6	6.9	5.9	15.0	8.7	7.1	9.1	0.0

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上



株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

<http://www.eb-i.jp>

メール：info@eb-i.jp

電話：03-5688-4751

ファックス：03-5688-5353